

(写)

総 第 322 号
令和6年5月29日

妙高市議会議長 関 根 正 明 様

妙高市長 城 戸 陽 二

妙高ふるさと振興株式会社令和6年度事業計画並びに
令和5年度事業にかかる決算について

妙高ふるさと振興株式会社の令和6年度事業計画並びに令和5年度事業にかかる決算について、
地方自治法第243条の3第2項の規定により報告いたします。

令和6年度 事業計画書

<事業計画>

「道の駅あらい」は8月に開業24周年を迎え、年数の経過とともに施設、構築物の老朽化も見られますが、妙高市、国土交通省等関係機関のご協力を得ながら、良好な施設維持管理に努めてまいります。

また、拡張エリアにおいては令和6年4月に新店舗がオープンされました。また、東西相互の往来が可能となることから市民・観光客の人の流れに変化が期待されます。引き続き屋内施設・屋外施設のさらなる利用促進に努めます。

弊社所有地に出店する物産センターや飲食店等の民間商業施設においては、集客の状況が店舗の経営を左右することから、出店者会と一体となってイベントを開催するなど、誘客を図ってまいります。年間イベント計画資料をご参照下さい。

指定管理施設は、「くびき野情報館」・「四季彩館ひだなん」と拡張エリアの「四季彩館みょうこう」の二つの農業振興施設の管理も担っています。

両農業振興施設とも、パートナー事業者である「株式会社ひだなん」が運営にあたっております。特に前期より運営を開始した東エリアの「四季彩館みょうこう」は、独自のイベント開催などで集客の支援を行います。

【指定管理施設の状況】

施設	(情報発信施設)	(農業振興施設)	
	くびき野情報館	四季彩館ひだなん	四季彩館みょうこう
運営事業者	妙高ふるさと振興(株)	(株)ひだなん ※四季彩館みょうこうは令和5年度より	
契約期間	令和3年度～ 令和11年度	令和2年度～令和11年度	

6次産業化の取り組みでは、昨年同様、妙高産米粉を使用したサブレ「妙高雷菓」の販売拡大を地域の協力を得ながら進めてまいります。

<事業展開>

1. 道の駅施設の維持管理
2. 出店者会と連携した集客イベントの定例開催。
3. 「くびき野情報館」の指定管理
4. 「四季彩館ひだなん」、「四季彩館みょうこう」「芝生広場」の指定管理
5. 6次産業化の実施
6. 地域特産品の販売
7. 不動産の賃貸借、管理及び仲介

<事業収益>

不動産の運用においては、令和4年度から空き店舗が一店舗あります。約定により地代・共益費の収入は見込んでおります。本年度は空き店舗の解消を目指します。

施設管理面では、利用者の安全確保を第一に専門業者への外部委託も行いながら、指定管理者として適正な維持管理に努めます。

特産品の販売では、引き続き「ふるさと納税」返礼品の受注や店頭販売などにより、売上確保はもとより、妙高の特産品の情報発信など地域振興にも取り組みます。

これら事業収益の柱となるのは不動産収入であり、道の駅の集客が各店舗の安定経営につながることを念頭に、継続して道の駅の情報発信やイベント開催など、集客の確保に努めてまいります。

令和5年度 妙高ふるさと振興株式会社 事業報告について

1. 事業の経過及び実績

1) 道の駅あらいの現況

平成12年8月開業の道の駅あらいは、一般道からも高速道からも立寄ることができる立地の良さと、農産物直売所や物産センター、鮮魚センターなどのほか多彩な飲食店が出店し、県内外から多くのお客様にお立ち寄り、ご利用いただいております。

新型コロナウイルスも5類に移行されましたが、その後の生活様式が変化した影響は残り来場者数は回復傾向にあるものの従前の水準には戻りきっておらず、今後の推移を見守りたいと思います。

2) 不動産管理の状況

弊社経営の根幹を成す商業施設の状況ですが、コロナ禍の影響が残っているものの客足は戻りつつあり、前年と変わりなく営業が継続され、約定通りの地代収入を得ました。

残念ながら一昨年から飲食店1店舗が空店舗となり、オーナー様が店舗譲渡先の確保に努めておりますが、未だ決定に至っていない状況です。

3) 指定管理施設の管理運営

弊社は、妙高市施設の指定管理者として「くびき野情報館」のほか、運営事業者と連携して「四季彩館ひだなん」「四季彩館みょうこう」の施設管理を担っています。

【指定管理施設の状況】

施設	(情報発信施設)	(農業振興施設)	
	くびき野情報館	四季彩館ひだなん	四季彩館みょうこう
運営事業者	妙高ふるさと振興(株)	(株)ひだなん	(株)ひだなん
契約期間	令和3年度～ 令和11年度	令和2年度～令和11年度	

① 情報発信施設「くびき野情報館」

くびき野情報館は、道の駅総合案内所として妙高市はじめ近隣の観光情報を

提供するほか、喫茶営業も行い、休憩所として利用されています。

本年度の入館者数は、前年度比 5%増の 23 万 6 千人となりました。令和元年度の 29 万 2 千人対比では 19%減となっています。

館内イベントギャラリーの貸し出しは、従前には及ばないものの徐々に展示会等での利用や昨年 10 月より休憩所を活用した音楽イベント等により閑散期の集客の落ち込みを少なくできたことも利用者増の要因と言えます。

②農業振興施設「四季彩館ひだなん」

農産物直売所と食堂を兼ね備えた施設は、弊社が指定管理者となり、パートナー事業者である「株式会社ひだなん」が運営にあたっています。

350 名を超える会員が出荷登録する直売所は、新鮮な野菜や山菜を求めて多くの市民や観光客が訪れています。また、遠方の顧客へのダイレクトメールや商品発送などにも積極的に取り組んでいます。

そのほか、生産者組合では野菜の栽培品種拡大や出荷時期の調整等に取り組み、自らの所得向上に努めました。

② 農業振興施設「四季彩館みょうこう」

令和 2 年に国道東側にオープンした同施設は、芝生広場が整備されており、モンベルショップの「フィールド妙高」と「食堂みょうこう」が店舗を運営し、弊社が指定管理を担っています。令和 6 年 4 月には「コメダ珈琲道の駅あらい店」がオープン。隣接地には室内 BBQ 設備が完備されたホテル「SOBOKU」もオープンとなり妙高山の絶景スポットの芝生広場を含めて更なる集客 UP を目指します。

降雪により冬の来場者が落ち込むため令和 6 年 2 月には市内の小学校が全国学校給食甲子園で優勝した給食メニューの実食イベントや地元小学校長のご理解を得て「大谷選手の寄贈グローブ展示会」を開催し多くの市民、観光客の入館実績を得られました。

4) 道の駅あらいの PR とイベント開催

道の駅あらいの集客につなげるため、各種情報誌、新聞、ラジオなどの媒体に広告を掲載しました。

また、イベント開催では、6 月に道の駅最大行事の「くびき野縁日」を開催したほか、出店者会と連携して 10 月には「新米祭り」、FM ラジオ局と連携した道の駅あらい店舗情報・イベント情報の広告も実施しました。

5) 特産品の販売

くびき野情報館売店ではお米、地酒、加工品や手芸品の販売を行いました。

令和 5 年 12 月に地元特産品の陳列見直しを行うと共に防災道の駅としての

機能を活かした防災グッズの販売を令和 6 年 6 月にリニューアルオープンを目指して準備を進めています。

また、「ふるさと納税」返礼品発送業務は、1 月の能登半島地震の影響もあり前年度比約 46%減のおよそ 270 件、100 万円の取扱いとなりました。

魅力ある「ふるさと納税返礼品」の必要も感じられている。

6) 6 次産業化への取り組み

障がい者施設に製造委託している妙高産米粉を使用したサブレ「妙高雷菓」の販売では、前年度並みの 16 万円ほどの販売でした。代金の一部はライチョウ保護に取り組む生命地域妙高環境会議に寄付いたします。

2. 令和 5 年度の経営状況

【概 要】

昨年度株主総会にて承認を頂きました弊社も共同出資した「株式会社みょうこう未来創造商社」の解散及び清算登記の完了に伴い清算金 157 万円。出資金 850 万円の差額 693 万円と前駅長の役員退職金 200 万円の合計 893 万円の損金となっています。

結果として税引前当期純利益は約 440 万円と前年同期と比較し、およそ 910 万円の減益となりました。法人税、住民税及び事業税を控除した当期純利益は約 350 万円と、前年同期比約 600 万円の減益となっています。

利益剰余金の処分としては、前年同期と同額 160 万円の株式配当を実施いたします。

【収 入】

- ・地代収入は、前年同期比で大きな差異はなく約 2,665 万円の収入となりました。
- ・共益費は出店店舗からの安定した収入が得られたことにより前年同期比で約 100 万円の収入増となりました。
- ・施設委託等収入は、妙高市からの委託料収入約 2,240 万円で、「くびき野情報館」の委託料約 1,500 万円、「四季彩館みょうこう」が約 740 万円となったほか、除雪費は少雪傾向でありましたが約 148 万円となり、総額では前年と比較して約 28 万円の増額となりました。
- ・商品等売上は約 1,060 万円となり、リニューアルに向けた冬期間の売店休止と前年度の新型コロナ感染拡大影響で客足が遠退いたことが昨年度と同額となった要因と思われる。
- ・商品仕入高は、約 310 万円と前年比約 50 万円の減額となりました。

共益費、委託費の増額と仕入高の減額等により売上総利益は前年度比およそ約 180 万円増の約 7,265 万円となりました。

【支 出】

- ・合計で約 5,993 万円と前年比約 120 万円の増額となりました。
- ・増額の主なものとして、イベント等の備品消耗品で約 40 万円の増額、修繕費は約 50 万円の増額などとなりました。
- ・減額の主なものとして、法定福利費が約 36 万円の減額、水道光熱費では約 30 万円の減額となっております。

3. 道の駅あらいの取組みの方向性や課題

道の駅あらいは、妙高市の情報発信、交流拠点として多くの市民や観光客に利用されています。本年 1 月の能登半島地震発生後の大津波警報から逃れて多くの方々が避難されてきました。正に「防災道の駅」としての拠点として重要度が増しています。例年実施の「くびき野縁日」を防災意識の高揚を目的として「防災フェスティバル」と名を変えて各行政団体の支援の元、6 月 1 日・2 日・8 日に実施いたします。

コロナ禍により落ち込んだ来場者は徐々に回復傾向ですが、コロナ前の水準には戻っておらず、早く以前の活気が戻ることを期待しております。

このような状況下において、様々な店舗が出店する商業施設は当道の駅の特徴であるとともに、弊社の経営にも大きく影響することから、引き続き出店者会と連携した情報発信や様々なイベント開催などにより、道の駅の P R と集客の確保に努めてまいります。

また、既存エリアと新店舗もオープンした拡張エリアの往来が不便とのご意見が多く寄せられたことにより、現在、東西相互へ往来可能な交差点設置に向けた工事が着手されており、一日も早い供用開始を願っております。

第 26 期

決 算 報 告 書

令和 5 年 4 月 1 日 から

令和 6 年 3 月 31 日 まで

妙高ふるさと振興株式会社

(法人番号:1110001020209)

令和 6年 3月31日現在

商号 妙高ふるさと振興株式会社

代表者 入村 明

(単位：円)

[illegible]

損益計算書

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

商号 妙高ふるさと振興株式会社

(単位：円)

科 目					金 額		
I	売地 共 施 商	代 益 設 委 品	上 費 託 等	収 収 等 売	高 入 入 入 上		
					26,654,760 16,318,554 22,475,374 10,575,931	76,024,619	76,024,619
II	売期 商 合 期 売	上 首 品 末 上	棚 仕 棚 総	原 卸 入 卸 利	価 高 高 計 高 益		
					420,687 3,164,058 3,584,745 215,365		3,369,380
							72,655,239
III	販 販 営	売 費 業	及 及 業	び び 一 般 管 理 費	益	59,939,560	59,939,560
							12,715,679
IV	営 受 受 雑	業 取 取	外 配 収	収 利 当	益 息 金 入	2,111 600 612,753	615,464
V	営 営	業 業	外 外	費 費	用 用	0	0
	経	常	利	益			13,331,143
VI	特 特	別 別	利 利	益 益		0	0
VII	特 役 出	別 員 資	損 退 金	職 清 算	失 金 損	2,000,000 6,929,552	8,929,552
	税 引 前 当 期 純 利 益	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税				905,300	4,401,591 905,300 3,496,291

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				金 額
運賃			賃	123,880
広告	宣	伝	費	1,068,006
会議			費	19,587
退職	職		金	260,430
役員	員	報	酬	2,470,000
職定	員	給	与	18,000,858
法	定	福	利	2,248,299
厚生		生	費	582,243
減価	償	却	費	1,608,075
地代		家	賃	3,042,083
修繕	繕	耗	費	1,161,226
事務	用	品	費	471,505
通信	交	通	費	1,345,364
水道	光	熱	費	6,470,848
租税	公		課	2,026,030
寄付	付		金	45,601
接待	交	際	費	135,039
保険	交		料	260,184
備品	消	耗	費	927,142
委託	管	理	費	14,000,942
諸会	管		費	192,482
リース	一	ス	料	88,054
支払	手	数	料	1,031,724
雑費			費	2,359,958
合 計			計	59,939,560

棚卸資産の計算内訳

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	215,365
合 計	215,365

株主資本等変動計算書

商号 妙高ふるさと振興株式会社

令和 5年 4月 1日から

令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

I 株 主 資 本			
1. 資 本 金			
	当期首残高		40,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		40,000,000
2. 利 益 剰 余 金			
(1) 利 益 準 備 金			
	当期首残高		10,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		10,000,000
(2) そ の 他 利 益 剰 余 金			
別 途 積 立 金			
	当期首残高		122,000,000
	当期変動額		
	別途積立金の積み立て	4,000,000	4,000,000
	当期末残高		126,000,000
繰 越 利 益 剰 余 金			
	当期首残高		59,143,894
	当期変動額		
	別途積立金の積み立て	-4,000,000	
	剰余金の配当	-1,600,000	
	当期純利益	3,496,291	-2,103,709
	当期末残高		57,040,185
そ の 他 利 益 剰 余 金 合 計			
	当期首残高		181,143,894
	当期変動額		
	別途積立金の積み立て	0	
	剰余金の配当	-1,600,000	
	当期純利益	3,496,291	1,896,291
	当期末残高		183,040,185
株 主 資 本 合 計			
	当期首残高		231,143,894
	当期変動額		
	別途積立金の積み立て	0	
	剰余金の配当	-1,600,000	
	当期純利益	3,496,291	1,896,291
	当期末残高		233,040,185
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
III 新 株 予 約 権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
純 資 産 の 部 合 計			
	当期首残高		231,143,894
	当期変動額		
	別途積立金の積み立て	0	
	剰余金の配当	-1,600,000	
	当期純利益	3,496,291	1,896,291
	当期末残高		233,040,185

監査報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第26期事業年度について、取締役が作成した計算書類および事業報告ならびに附属明細書について監査いたしました。その結果につき、以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法および内容

監査役は、取締役等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等の閲覧および業務ならびに財産の状況を調査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類および事業報告ならびに附属明細書につき検討いたしました。

2. 監査の結果

- (1)会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表および損益計算書の記載と合致しているものと認めます。
- (2)貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表およびこれらの附属明細書は、法令および定款に従い、会社の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているとして認めます。

令和6年4月23日

妙高ふるさと振興株式会社

監査役

飯吉 亨



監査役

池田 弘

